

平成29（2017）年度
東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻
修士課程（社会情報学コース・特別選考枠）
入学試験問題
専 門 科 目

（平成28年8月22日 14:00～16:00）

試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはいけません。開始の合図があるまで、下記の注意事項をよく読んでください。

1. これは、社会情報学コース・特別選考枠の問題冊子である。
2. 本冊子の本文は3ページである。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあった場合には申し出ること。
3. 解答用紙は5枚ある。第1問・第2問は、問題ごとに解答用紙1枚を使用すること。第3問は、選択した用語ひとつひとつについて、それぞれ1枚ずつの解答用紙を用いること。このほかにメモ用紙が1枚ある。なお、解答用紙のみが採点の対象となる。
4. 解答用紙の上方の欄に、問題の番号（例：第1問）、第3問は問題の番号と選択した用語の番号（例：第3問（18））及び受験番号を必ず記入すること。問題の番号、用語の番号及び受験番号を記入していない答案は無効とする。
5. 解答には必ず黒色鉛筆（または黒色シャープペンシル）を使用すること。
6. 解答は日本語によるものとする。
7. 試験開始後は、中途退場を認めない。
8. 本冊子、解答用紙、メモ用紙は持ち帰ってはならない。
9. 次の欄に受験番号と氏名を記入せよ。

受験番号	
氏 名	

社会情報学（特別選考） 第1問

次の英文を読み、以下の問いに日本語で答えなさい。

下記出典の文章を掲載しています。

出典 Clough, J. (2010). *Principles of Cybercrime*. Cambridge: Cambridge University Press.

* maxim: 格言

- (1) 下線部 (a) はどのような意味か。著者の議論に沿って 400 字程度で説明しなさい。
- (2) 下線部 (b) について、あなたの意見を、具体的事例を挙げながら、600 字程度で述べなさい。

社会情報学（特別選考） 第2問

学際情報学府入学後の研究計画を1000字程度でまとめなさい。ただし、(1) 研究の目的、(2) 意義、(3) 関連研究との関係、(4) 具体的な研究内容について、項目を分けて記述すること。

社会情報学（特別選考） 第3問

以下の（1）～（18）の中から、3つの番号を選択し、その用語の意味をそれぞれ300字程度で説明しなさい。ひとつの番号について、1枚の解答用紙を用いなさい。その際、必ず選択した番号を解答用紙に明記すること（選択した番号が記載されていない解答は無効とする）。

- （1）学問の自由と大学の自治
- （2）ヘイトスピーチに対する規制
- （3）著作権侵害罪の一部非親告罪化
- （4）データジャーナリズム
- （5）公共放送としての日本放送協会（NHK）
- （6）リップマン（W. Lippmann）のステレオタイプ
- （7）NPT体制（NPT regime）
- （8）業績評価投票（retrospective voting）
- （9）民主主義による平和（democratic peace）
- （10）インダストリー4.0
- （11）SWOT分析
- （12）経済協力開発機構（OECD）
- （13）確証バイアス（confirmation bias）
- （14）沈黙の螺旋
- （15）質問票調査におけるキャリーオーバー効果
- （16）統計的検定における第一種過誤と第二種過誤
- （17）『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』
- （18）構造人類学